

## 第 39 回入学式式辞

木々の新緑、美しい草花が、うららかな春の日差しに映える今日この佳き日に、めでたく入学を許可されました新入生の皆さん、入学、誠におめでとうございます。

本日、ここに、ご来賓、保護者の皆様のご臨席をたまわり、兵庫県立須磨友が丘高等学校、「第 39 回入学式」を挙行できますことは、この上ない喜びでございます。厚く御礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、中学校における教育の基礎の上に、さらに高度な教育を受けるため、多くの方が初めての経験だったことでしょうか、「入学試験」を受験され、見事、合格！そして必要な手続きを全て整え、本日の「入学許可」に至ったというわけです。実にめでたく、長い人生の中でも、とりわけ大きな節目となる一日になったことだと思います。

今日までの人生は、どのようなものでしたか。生き生きと、充実したものでしたか。つらく、嫌なことが多かったでしょうか。それとも、何となくここまで過ごしてきた、という印象も拭えないでしょうか。いずれにしましても、皆さんに共通していることは、十数年前に、この世に生を受けられ、今ここに元気に存在しているということです。産んでいただき、育てていただき、今日この佳き日を、元気に迎えることができました。

皆さんの「命」が、お母さんのお腹の中に宿ったと分かった時、それはそれは喜ばれたことでしょうか。そして、あふれんばかりの愛情を受け、お腹をさすりながら話しかけていただき成長し、“誕生の日”を迎えられました。誕生したとて、我々人類の赤ちゃんは、決して一人では生きていくことができません。保護者の方は、ほかの何よりも優先して皆さんのことを考え育て、中には仕事を辞めたり、職場を変えたりされた方もおられたことでしょうか。そうしながら、保育所に幼稚園、その後の、保護者が担う 9 年の普通教育を受けさせる義務をしっかりと果たされ、高等学校入学まで導いてくれました。あたりまえのことではありません。感謝しても仕切れないほど、“有り難い”ことなのです。

この世のすべては、「命」あつてのこと、この世のステージに立たせてくださったこと以上に、有り難いことなど、存在するはずがないのです。いただいた「命」、育てていただいた「命」…自分だけのものでは決してないのです。大切に大切に、これからも懸命に生きてください。

今日の、この、皆さんの新たな出発、人生の大きな節目で、是非、今一度、この点に思いをめぐらせてみてください。自然と、感謝の気持ちがわき上がってくるはずです。二度とない、今日という日に、是非、その気持ちを、保護者の方に伝えてください。

皆さんは、いよいよ高等教育の分野に足を踏み入れられました。本日から、約“千日”で卒業です。この“千日”をどのように過ごすかで、皆さんの人生は大きく変わります。先月、3月1日、この同じこの場所で、232名の36回生が、堂々と胸を張り卒業していかれました。多くの方が目標をかなえ、次のステージへと、意気揚々と進んで行かれました。嬉しい限りです。

「鍛錬千日の行 勝負一瞬の行」…人生で必ず訪れる大切な“一瞬”のために、高校生活“千日”で、自らを鍛え上げてください。

皆さんは、「人生の目的」「生きる目的」を、どのように捉えておられますか。これがぼんやりしては、困難に直面した時、すぐに心が折れたり、また、逃げ回ったりと、後々

に大きな後悔をする行動をとってしまうことがあります。

私は、「人生の目的」を、「幸いにも両親からいただいた『命』」に深く感謝し、この『命』が尽きるまで『魂』を磨き自らを高め、獲得した力で、世のため人のために役立つよう努めていくこと」だと考えています。

これからの“千日”、この「人生の目的」に迫っていけるよう、余りあるエネルギーを、どうか、自らを高めるため、惜しみなく使ってください。

そのためには、まずは「授業」が第一です。高等学校のハイレベルな先生方の授業に、どっぷりと、のめり込んでみてください。そして、これまでの人類が獲得し積み上げてきた膨大な知識財産に、自ら手を伸ばし、貪欲にアプローチしてください。学問を深めれば、さらなる興味・関心・疑問が沸き上がってきます。ならば、さらに深めてください。「こうなっていたのか!」「昔の人はすごいな!」「先生、やっとわかりました!」等々、脳細胞が躍動し、全身の血流が変わる経験を重ねてください。幅広い選択科目の中から科目選択し、これまで以上に自らとの対話を深め、新たな自分と出会いながら、将来の職業選択を視野に入れた、輝ける未来をデザインして行ってください。

加えて、「人生の目的」達成に向けた、“総合的人間力”を獲得するためには、「ホームルーム活動」、「生徒会活動」、「学校行事」、そして「部活動」も、とても重要になってきます。皆さんは、素晴らしい可能性を秘めた「原石」であり、それゆえに、“磨き”をかける必要があるのです。様々な場面で、色々な人と人間関係を築き、協力し、時にはぶつかりあって刺激され、それらを“研磨剤”として捉え“磨き”をかけ、自らを高めてください。

例えば、生徒会活動…「こんな学校にしていこう!」「こんな文化祭はできないかな?」「みんな、こんな校則、必要?…もう、なくても大丈夫じゃない。なら、みんなの意見をまとめて先生に掛け合おうよ」…こんな生徒会活動、ワクワクしますね!…「どこかで知らない誰かに決められたことを、何の疑問も持たず、ただ守っていればOK」…これほどつまらないことはありません。皆さんは、予測困難なこれからの時代を、心豊かにたくましく生き抜くことが求められているのです。現状に疑問を持ち、そして自由な発想で思考を巡らせ、より良い状況へ変化させ、課題を突破して行ってください。その主体的で創造的な取組こそが、将来の皆さんの、社会での活躍に大きな意味を持つこととなり、ひいては、人類の発展に繋がっていくものなのです。

“不易”と“流行”ということばを聞いたことがあると思います…人が人として生きていく上で、どれだけ時代が変化しても変わらず大切に、忘れてはならない本質的なもの、“不易”、その時代、現状を正確に見つめ、変化させていくことがより良いと判断したならば、勇気を持って変化を取り入れていく“流行”。この“不易”“流行”を深く理解した取組が、強く求められているのです。

また、部活動…これまで取り組んできたことを、更に高いレベルで継続し極めていくこと…実に素晴らしいことです。どこまで到達できるか、挑戦してください。反対に、高校入学を機に、新たに初心者でスタートするのもいいでしょう。高校から始めた競技で、現在、ロンドン、リオに続き、三度目となるオリンピック、東京大会出場を目指している、本校26回生、ウェイトリフティングの「八木かなえ」さん、アルソックのテレビCMでもお馴染みの輝かしい先輩もおられます。

本校の特徴の一つに、ほとんどの生徒が、運動部、文化部、同好会、委員会の、どこか

に所属し、明るく切磋琢磨し、文武両道で懸命に自らを高める努力を続け、素晴らしい結果を出し続けていることが挙げられます。

皆さんも、是非、何かに所属し、自らに磨きをかけてください。皆さんの、ひたむきな日々の取組・努力こそが、保護者の方、中学校、小学校の先生方をはじめとする、これまでお世話になった方々への、「恩に報いる唯一の道」でもあります。

もちろん、「一人で頑張れ」、ということでは決してありません。優しく頼もしい先輩が、また、情熱と愛情に満ちた先生が、そして何より、“友愛に満ちた仲間が集まる丘”となることを願い、“須磨友が丘”と命名された本校で、奇跡的な確率で、今日一緒に入学した、深い「ご縁」のある「友」がいます。「友」と語り合い、互いを認め励まし合い、補い合っ  
て取り組めば、突破できないことなど、絶対にありません。一生の「友」を、一人でも多くみつけてください。

校訓は、「知（ち）」「考（こう）」「行（ぎょう）」です。「知ること・考えること・行動すること」の精神を深く理解し、何事も真正面から、正々堂々と向き合っていてください。

保護者の皆様、本日は、誠におめでとうございます。立派に成長したお子様の「晴れ姿」をご覧になられ、感慨も一入のことと存じます。心よりお慶び申し上げます。

私たちは、本日、かけがえのない、各ご家庭の宝物、大切なお子様をお預かりいたしました。全職員、最善を尽くし、3年後には、それぞれの大きな夢に向かって元気に、胸を張り旅立ち、皆様から「須磨友が丘に入学して、本当に良かった！」と喜んでいただけるよう、高等学校教育を生涯の「生業」とする、プロの教育者としての「誇り」にかけ、誠心誠意取り組んでまいります。

結びに、本日ご出席いただきました、ご来賓、保護者の皆様に改めてお礼申し上げますとともに、今後一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます、「式辞」といたします。

令和3年4月8日

兵庫県立須磨友が丘高等学校校長 川崎 芳徳